

【高等学校用】

令和5年度学校評価 計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立佐賀東高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>・本校の課題は「入試倍率」「希望する進路実現」「部活動成績や生徒会活動、学校教育活動の広報」であり、さらなる高みを目指した教育実践を行い、「唯一無二の学校づくり」を推進し、5年後・10年後の佐賀東高校を創造することである。</p> <p>・学習用パソコンや電子黒板を利用し、アクティブラーニング(主体的・対話的で深い学び)を実践しながら、生徒自らが学ぶ意欲を高め、学力向上と人間力アップの取組みを進めている。学校評価アンケートにおいては、各項目において概ね高い評価をいただいた。また、地域行事に関しては、生徒会(運動部・文化部)が主体的かつ積極的にボランティアとして参加し、地域に貢献している。</p> <p>・働き方改革の推進として、長時間労働の縮減や部活動指導のあり方、学校行事や教職員の事務的作業の効率化、また、それらの検討・見直しに取り組んだが、期待通りの成果は得られていない。次年度の課題でもある。</p>
2 学校教育目標	<p>校訓「使命に生きる」「自主自律を尊ぶ」「明朗清新を喜ぶ」の精神のもと、頼りな個性を尊重し、生徒の目的意識を高め、保護者・地域から厚い信頼を得ることができる教育を目指す。</p> <p>ア 使命に生きる……学校、社会、人生において、自らに課せられた役割を見だし、志を立て、それを現実のものとする事ができる資質を養う。</p> <p>イ 自主自律を尊ぶ……自分が負える責任を正しく理解し、正しい判断のできる能力を育成したうえで、自ずからなる節度を持ち、自由の重みに耐え得る人間となることを大切にす。</p> <p>ウ 明朗清新を喜ぶ……誰とも公平・公正な態度で向かい合い、明るく豊かで活力のある、心身ともに健康な成長を遂げることを目指す。</p>
3 本年度の重点目標	<p>唯一無二の誇り高き佐賀東高校の教育実践</p> <p>○「やる気」を伸ばす佐賀東……部活動で全国を目指したい気持ち、勉強を頑張る進路目標(進学・就職)を達成したいという「やる気」を伸ばします。</p> <p>○「多様な人材」を育てる佐賀東……互いを尊重し、時代の流れをつかみ取り、自分らしく生き抜いていく人間力を身につける教育活動を実践します。</p> <p>○「地域」に応える佐賀東……地域を愛し、地域の課題を発見し、地域の人々と協力しながら、全国で活躍する人材を育てます。</p>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	○生徒一人ひとりに、明確な希望進路を持たせ、それぞれの進路実現に向けた取り組みを実践する。	○進路希望調査における「未定」率が3年生10%未満、2年生30%未満、1年生50%未満 ○3年生の進路実現率95%以上	・各種ガイダンス等を通して、生徒一人ひとりの自己理解を深めさせる。 ・模擬試験等を活用して自己の現状と目標との距離を意識させる。							進路指導部
	○基礎学力の定着	○学期に1回の授業アンケートを行い、「授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている」の回答「そう思う・だいたいそう思う」を80%以上にす。	・授業アンケートの結果を精査し、生徒のニーズ・進路実現の観点を意識した授業改善を図る。 ・1回以上の研究授業・授業研究週間を実施し、教職員の授業力向上を図る。							教務部
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動を実践する。	○特別指導措置における人間関係トラブル(いじめ・SNS等)件数を2件以内 ○特別指導件数5件以内 ○「いいね!」カード発行50枚以上	・防犯講話やHR活動等において、情報モラル教育、人権教育を実施 ・指導カードを活用し早期サインに気づき早期対応を行う。 ・「いいねカード」の内容を全校にアナウンスする。							生徒指導部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ●担任・学年と連携を図り、困難を抱えている生徒の早期発見、早期対応を目指す	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルの作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回以上行う。							保健部(教育相談)
	◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動を推進する。	◎「佐賀県に誇りや愛着を感じる。どちらかというと感じる」と回答した生徒80%以上 ★郷土の人材を活用した講演会等、各学年、年間1回以上	・各地域の郷土学習資料や「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む。 ・郷土の人材を活用した講演会を実施する。							図書研修部
●健康・体づくり	●健康に良い食事をしている生徒70%以上	●「健康に良い食事をしている」生徒70%以上	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・保健だよりの発行、保護者への個別の連絡							保健部
	○安全に関する資質・能力の育成	○交通ルール遵守・マナーアップでクレーム電話を5件以内 ○交通重大事故(入院以上)ゼロ・交通事故件数10件以内	・学期始めの交通指導、危険箇所での交通指導を登校時に行う。 ・交通ルール5原則に関連する資料を、配布する。 ・交通講話を実施する。							生徒指導部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と、時間外在校等時間の削減	●時間外在校等時間の上限を遵守する。定時退勤日の設定や職員朝礼は隔日(月水金)開催、会議終了時刻を明示するなど、業務削減を実践する。年間を通して月平均45h超過者を10人以下にする。また、年間年休取得日数14日を目指す。	・定時退勤日(月)推進日(金)と学校閉庁日を設定するなど、勤務体制の整備を行う。 ・部活動休養日と年休取得を積極的に推進する。 ・業務削減(縮小)を具体的に示し、教職員の労働環境整備に努める。							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	重点取組内容	成果指標(数値目標)								
○実践的・体験的な活動の充実	○地域への貢献活動(ボランティア) ◎互いを尊重し、主体的に取り組む生徒会組織を目指す。 ○佐賀東版「SDGs」の推進	○1年間で奉仕活動に参加したことのある生徒70%以上 ◎生徒会活動に関するアンケートを実施し、「主体的に参加できた」の回答80%以上 ○「佐賀東SDGs宣言」の重点目標を理解し、「しっかりと取り組めた・だいたい取り組めた」の回答90%以上	・各学年と協力し、生徒への参加を促す。また、部活動単位でも参加するように、顧問との連携を強化する。 ・全校生徒に、生徒会の一員であるという自覚をもたせ、生徒会役員を中心に様々な活動を行う。 ・重点目標を4つに絞り、教室掲示や担任を通して、常に意識付けを行う。							生徒会
○県内外への学校情報の発信 ★唯一無二の誇り高き学校づくり	★県内外の中学生、保護者や外部を対象とした、「唯一無二の誇り高き佐賀東高校」の積極的な情報発信 ★本校生徒による出前講座、地域ボランティアの取材・情報発信を主とした「社会に開かれた学校」をPRする。	○学校新聞「飛翔」の月1回以上の発行。公式キャラクター「ヒガッチ」を利用した学校紹介動画、学校案内パンフの作成 ○佐賀東高校広報部Instagramの総登録者数250名・30,000回再生以上、Tiktokの総登録者数170名・50,000回再生以上 ○佐賀東高校広報部Youtubeにおいて、総再生回数5,000回以上。「学校ホームページ」からの到達者数述べ1万人以上 ★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合60%以上、教職員の割合75%以上	・公式キャラクター「ヒガッチ」について、イベントやSNSへの登場機会を増やし、広報の目玉とする。 ・ドローン映像とQRコードを活用し、魅力ある映像を手軽に閲覧できる状況をつくる。 ・地域で活躍する卒業生たちの取材を行い、情報を発信する。 ・学校改革企画委員会を開催し、高校魅力化の取組みを強化する。							広報部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
--------------------	----------------------------